

ギニア月報（2024年7月）

主な出来事

【内政】

- 8日、ウスマン・ガウアル・ディアロ政府スポークスマン、移行期間の終了は市民登録（RAVEC）の進展次第であり、移管に所与の期限はないと発言。
- 9日、著名な市民活動家のフォニケ・メンゲとビロ・バー両氏が、治安当局の混成部隊（国家憲兵隊、特殊部隊）により逮捕連行される。
- 29日、暫定議会（CNT）、憲法草案を公開。現暫定大統領も出馬可能な内容。
- 31日、2009年9月28日虐殺事件についてディクシン地裁が判決。主犯ダディス・カマラに対し懲役20年。人道に対する罪も判示。被告弁護団は控訴

【外政】

- 4日、フランコフォニー国際機関（OIF）、ギニアへの制裁を解除。常任理事会およびすべての委員会への出席を解除
- 16日、国連副事務総長がギニアを訪問。暫定大統領と会談。社会経済的課題と持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた協力を再確認

【経済（経済協力含む）】

- 29日、シマンドゥ鉄鉱山開発で鉄道敷設等を進めるトランスギニア会社（CTG）が2周年行事を開催
- 29日-30日、プリズム通信・デジタル相、中国アフリカ/デジタル会議出席

1 内政

- ・ 1日、首相、鉱業の影響を受ける自治体を対象とした地域経済開発基金（FODEL）を正式に発足。
- ・ 2日、豪雨によりコナクリで3人犠牲者。洪水は市内各地に影響。
- ・ 7日、Souapiti水力発電ダムでは4基中1基、Kalétaダムでは3基中1基のタービンのみが稼動。雨期に入るも未だ水位は異常に低い状況。
- ・ 8日、ウスマン・ガウアル・ディアロ政府スポークスマン、移行期間の終了は市民登録（RAVEC）の進展次第であり、移管に所与の期限はないと発言。
- ・ 9日、著名な市民活動家のフォニケ・メンゲとビロ・バー両氏が、治安当局の混成部隊（国家憲兵隊、特殊部隊）により逮捕連行される。
- ・ 11日、Mary Lawlor 国連人権特別報告者が、FNDCのフォニケ・メンゲとビロ・バーの即時釈放を要求。
- ・ 12日、世銀・IMF、ギニア政府がEDGに対して1億6300万ドルの未払いがあ

ると報告。

- ・ 17日、市民活動家2名の誘拐に抗議し、弁護士会が7月31日までのストライキを発表。
- ・ 18日、ギニア政府、電力不足対策の一時的措置として、トルコのKpowership社と150MWの電力を供給する契約を締結。
- ・ 19日、政府による政党評価：52%の団体は党首の自宅等に本部を置く。公式の銀行口座も持っていない団体も多くあると報告。
- ・ 23日、政府スポークスマン、フォニケ・メンゲとビロ・バー両氏の誘拐を反政府プロパガンダとせず、関連情報を持つ者は司法当局に連絡するよう発言。
- ・ 23日、フォニケ・メンゲとビロ・バー両氏の配偶者らは、強制失踪の容疑でギニア暫定大統領ら3人をフランス裁判所に提訴。
- ・ 26日、政治活動家フランシス・ハバ氏が党本部で逮捕され、国家憲兵捜査局によって連行。
- ・ 27日、ラベ-マリ間の171Kmの道路建設プロジェクトが開始。
- ・ 29日、暫定議会(CNT)、憲法草案を公開。現暫定大統領も出馬可能な内容。
- ・ 31日、2009年9月28日虐殺事件についてディクシン地裁が判決。主犯のダディス・カマラに対し懲役20年。人道に対する罪も判示。被告弁護団は即座に控訴。

2 外交

- ・ 4日、フランコフォニー国際機関(OIF)、ギニアへの制裁を解除。常任理事会およびすべての委員会への出席を解除。
- ・ 16日、国連副事務総長がギニアを訪問。暫定大統領と会談。社会経済的課題と持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた協力を再確認。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 1日、ウイニング・コンソーシアム(WCS)が、シマンドゥプロジェクトの一環として150台の農機(コンバイン)を寄贈。大統領府官房長官が代表出席。
- ・ 2日、国連世界食糧計画(WFP)の2024-2029年ギニア国戦略計画が承認。1億4300万ドル。また、イタリアから1500万ユーロの食料安全保障プログラムの資金も得られ、両国の関係強化に寄与。
- ・ 9日、サウジアラビア開発基金、7500万ドルの融資を承認。コヤに母子病院を建設。返済期間は20年で、年率1%の利子。
- ・ 9日：脳血管・心血管疾患フォーラム開催。北京 ANZHEN 病院の専門家がコナ

クリで経験を共有。中ギニア友好病院が中国から 6050 万 GNF 相当の医療機材と薬品を受け取り、新たな心血管および脳血管治療センターが開設。

- ・ 9 日、ギニア暫定議会（CNT）、農業プロジェクトの融資を承認。アフリカ開発銀行 2800 万ドルの融資。フランス開発庁（AFD）6 千万ユーロの融資。
- ・ 9 日、フランス司法省の国際刑事共助局がギニアを訪問。司法手続きの協力強化について議論。国境を越えた犯罪対策が主なテーマ。
- ・ 27 日、アフリカ開発銀行から 1400 万ドルの融資を獲得。中小企業の発展と産業レジリエンス強化のため。
- ・ 29 日、シマンドゥ鉄鉱山開発で鉄道敷設等を進めるトランスギニア会社（CTG）が 2 周年行事を開催。鉄道車両用に 2 億 7700 万ドルの契約に署名。
- ・ 29 日-30 日、プリズム通信・デジタル相、中国アフリカ/デジタル会議に出席（於北京）。

（了）